

「プライドを持ちなさい」

学校に遅刻をしたり、化粧をして来たり、スカートを短くしてみたり。そういう生徒に限って、よく言い訳をする。「遅刻をしたので、入室許可書をください。」「どうして遅刻したの?」「列車に乗り遅れた」…。

しかし、遅刻したのは、列車に乗り遅れたことが原因ではない。朝起きられないほど、昨日の夜遅くまで寝らなかつたことが原因ではないのか。寝られなかつたことにも何らかの原因があるかもしれない。ただ、生徒が遅くないという深夜の1時や2時という時間は、常識から考えても遅い時間である。

そういう言い訳は、その場だけをどうにか言い逃れさえできればいいという考えである。そして、そんな生徒が多い気がする。

プライドを持つとはどういうことなのか、君たち自身で考えてほしい。

自分にプライドを持つ

よく、人は「あの人がプライドが高いから・・・」といった悪口を言いますが、プライドが高いと言うことは、決して悪いことではありません。

自分の言動にプライドが持てるのは、それなりの人生の蓄積(経験)があるからなのです。また、自分にプライドを持つことは、同時に言動や、生きざまに責任も持つことになるのです。

ですから、決して簡単なことではないのです。

プライドを捨て、迎合して生きて行くほうが、どれだけ楽かわかりません。

でも、人として、プライドを持って生きるほうが、間違いなくカッコいいと思いませんか?

6月4日(水)に学年での「頭髪服装検査」が予定されています。担任の先生や学年主任は、自分のクラス・学年は自分たちの学年できちんとさせるという“プライド”を持って実施してもらっているはずですが、君たちも、自分の身なりくらい人に言われなくても一回で合格できるよう、“プライド”を持って望んでほしいものです。

4月の生徒指導部への検査に来た生徒は“0”でした。5月は、数人でした。現在、ほとんどの生徒がきちんと検査に合格しているということです。今、日出暘谷・日出総合生の服装を整えるチャンスです。クラス・学年、そして生徒一人ひとりが“プライド”を持って取り組みましょう!

(訂正) 前7号の下着の色に間違いがありましたので、訂正をします。

※着る場合は、白・グレー・紺・黒で無地のものを着用すること。文字や柄物、色物は厳禁です。※

なお、半袖から長袖のアンダーシャツが出ているようなものは、着用できない。場合によっては、脱がせることもあります。